

働く男のライフスタイル情報紙

Biz Life Style [ビズスタ東京]

2016 01

特別版

『BizLifeStyle』は東京、神奈川、関西、京都・滋賀、仙台、福岡にて45万部発行
下記URLまでアクセスを。

www.biz-s.jp

広告掲載に関するお問い合わせ・申し込みは
TEL.03-6854-7001 FAX.03-6854-7005

企画・制作 / 株式会社デイリースポーツ案内広告社
〒110-0015 東京都台東区東上野4-8-1 TIXTOWER UENO 14F
© 2016 DAILY ADVERTISING AGENCY CO.,LTD



世代を越えて旅するラゲッジ

VOYAGE BEYOND GENERATIONS

For over 135 years, Hartmann has defined the luxury travel experience through exquisitely crafted luggage and a strong commitment to innovation in the ever changing landscape of travel.

hartmann

INSPIRED LUXURY
SINCE 1877

My Favorite Life Style

hartmann
INSPIRED LUXURY
SINCE 1877



Tweed Belting Collection

20世紀前半は、製造業各分野が「耐久性」に取り組んだ。船旅の時代だけに旅行鞆も同様で、ハートマンは工業用途のライホイルベルトをヒントに改良を重ねた。これが、後に世界を席巻するベルティングレザーとなる。

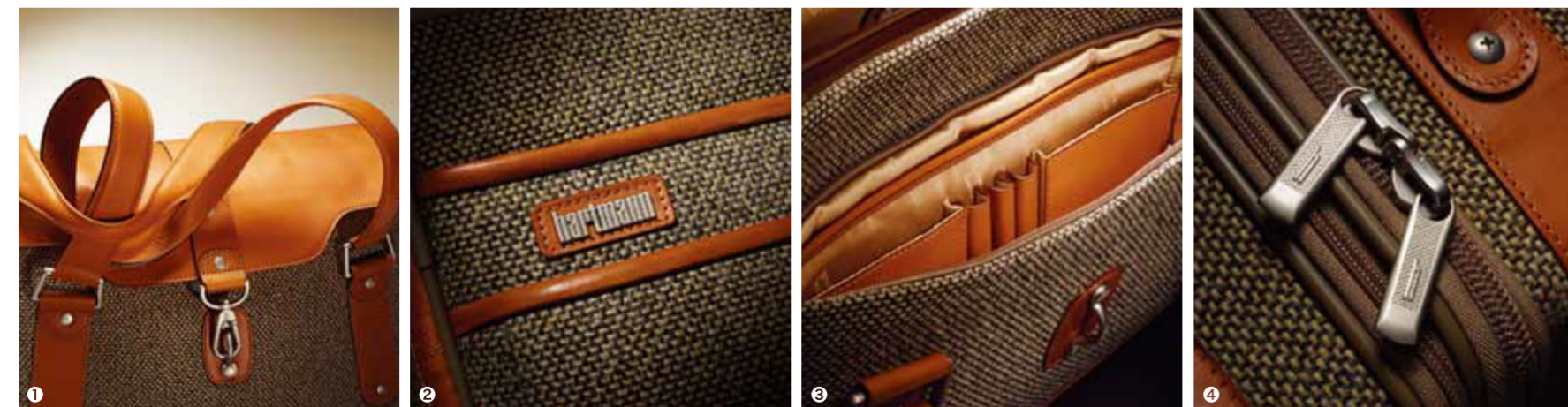
まず、高級革製品のポイントである「耐水性」にこだわった。船旅の時代だけに旅行鞆も同様で、ハートマンは工業用途のライホイルベルトをヒントに改良を重ねた。これが、後に世界を席巻するベルティングレザーとなる。

まず、高級革製品のポイントである「耐水性」にこだわった。船旅の時代だけに旅行鞆も同様で、ハートマンは工業用途のライホイルベルトをヒントに改良を重ねた。これが、後に世界を席巻するベルティングレザーとなる。

また、高級革製品のポイントである「耐水性」にこだわった。船旅の時代だけに旅行鞆も同様で、ハートマンは工業用途のライホイルベルトをヒントに改良を重ねた。これが、後に世界を席巻するベルティングレザーとなる。

まず、高級革製品のポイントである「耐水性」にこだわった。船旅の時代だけに旅行鞆も同様で、ハートマンは工業用途のライホイルベルトをヒントに改良を重ねた。これが、後に世界を席巻するベルティングレザーとなる。

まず、高級革製品のポイントである「耐水性」にこだわった。船旅の時代だけに旅行鞆も同様で、ハートマンは工業用途のライホイルベルトをヒントに改良を重ねた。これが、後に世界を席巻するベルティングレザーとなる。



① 使えば使うほど味わいが豊かに増すのがベルティングレザーの特徴。② 耐久性に優れ、風合いを損なわないのもツイードならでは。③ 収納は、単に容量がたっぷりだけでなく、常にスマートに収めることができる設計がされている。④ シックなメタルパーツにもハートマンのロゴマークが見える人が見ればひと目で分かるステイタス。

1877 アメリカ・ウィスコンシン州ミルウォーキーにて、ジョセフ・S・ハートマンが創業。

1886 第22代・24代アメリカ大統領グロヴァー・クリフトランドは、ホワイトハウスで準式を敢行。ファーストレディがハネムーンに使用したトランクが、人々憧れの的となる。写真はその実物だ。

1925 「野球の神様」ことベーブ・ルースは、クッショントップ・ワードローブを愛用。世界で50万台以上のトランクを売り上げるなど、この頃には揺るぎない地位を築く。

1935 ハリウッドスターたちの間でも愛用者がどんどん増えていった。ジミー・スチュワートは、バスファインダーとワードローブを愛用したという。

1939 より強く、より美しいバッグを目指して開発されたベルティングレザー。大ヒットを記録し、その後のハートマンブランドの象徴もなった。

1942 第2次大戦中の鉄不足により、米国海軍と共同開発でフレキシブルなバスウッドをフレームに用いたケースを完成。アメリカ製品の優秀さを示す上で、格好の材料となった。当時のアメリカ大統領フランクリン・ルーズベルトは、時のイギリス首相ウィンストン・チャーチルにこのモデルを贈ったという逸話も残っている。

1954 映画も大ヒットした007シリーズ。イアン・フレミングの原作「007死ぬのは奴らだ」の作中では、ジェームス・ボンドがスカイメイト・スーツケースを使用。

1956 現在でも人気を誇る、ツイード・ベルティング・コレクショが誕生。現行モデルも基本デザインは踏襲している。もまもなく60周年を迎えるという長寿シリーズに。

1963 第36代大統領リンドン・ジョンソンは、その任期中、スカイメイトを愛用していた。

1973 全米ナンバーワンの呼び声も高く、世界的な名声を欲しいままにしたファッションデザイナー、ホルストン・ラウラーのためにウルトラエドコレクションを制作。

1981 有名なセレブであり、芸術家としても名を成したグロリア・ヴァンダービルトが、ハートマンのために「ステータス・トート・アンド・ラゲッジ」のデザインを手がけて話題に。

1989 第41代大統領ジョージ・ブッシュ・シニア。大統領に就任以降、ノッカバウト・アタッシュエを使い始めたことは有名だ。

2010 アメリカのデザインアイコンであるファッションデザイナーのヴェラ・ウォン、バーバラ・バリー、マイケル・アランらとのコラボレーションによるエクスクルーシブコレクションを発表。

2014 特許技術が生んだ革新的な素材「カーヴ」を採用したプレミアムラゲッジ「7R(セブアンル)」を発表。強さと軽さを高次元に両立した次世代スーツケースだ。

History of hartmann

INSPIRED LUXURY
SINCE 1877

本物は時を重ねても色褪せない

揺るぎないクラフトマンシップが生む革新的な製品の数々

これまでご紹介したように、名だたる人々に選ばれてきたハートマン。過性の流行ではなく、1世紀以上もの間愛され続けてきた理由はいくつか見出せるが、まず最初に挙げべきは、もちろん製品としてのクオリティだ。

素材感や丸に活かしたスタイリッシュなデザイン。細部にまでこだわり抜かれた洗練のディテール。第二次世界大戦中、ルーズベルトがチャーターにハートマンを贈ったというエピソードが残っているが、並み居る高級ブランドを寄せ付けないほどの上質存在感は、70年以上を経た今も変わらない。

ハートマンは、バッグ製造において常に時代の先端を先取りし、分野全体に確信を促してきた先進のブランドでもある。その好例が、独特の発想をノウハウと転換し続けてきた皮革の質の向上だ。1939年に完成した「ベルティングレザー」は特に有名で、今でも代名詞のひとつとなっている。

20世紀前半は、製造業各分野が「耐久性」に取り組んだ。船旅の時代だけに旅行鞆も同様で、ハートマンは工業用途のライホイルベルトをヒントに改良を重ねた。これが、後に世界を席巻するベルティングレザーとなる。

まず、高級革製品のポイントである「耐水性」にこだわった。船旅の時代だけに旅行鞆も同様で、ハートマンは工業用途のライホイルベルトをヒントに改良を重ねた。これが、後に世界を席巻するベルティングレザーとなる。

また、高級革製品のポイントである「耐水性」にこだわった。船旅の時代だけに旅行鞆も同様で、ハートマンは工業用途のライホイルベルトをヒントに改良を重ねた。これが、後に世界を席巻するベルティングレザーとなる。

米国の大統領たちも愛した鞆

スーツ以上に積極的に選びたい鞆

ファッションには「P.O」というものがある。オフィス向かうウィークデイに興味を没頭する週末に、ドレジーに義務づけられている「P.O」出席時に、時と場所状況に応じて最適なファッションを選び、着用する。ビジネスシーンであれば当然のことだ。では、ファッションアイテムのひとつであるバッグはどうかと言えは、もちろん「使い分け」という方が多数派だろう。いや、スーツを何かと重宝してしまいがちな私たちは、むしろバッグの方が「積極的に選ぶべき」なのかもしれない。

ビジネスならば、書類が入るサイズが必要になり、旅行用ならば宿泊日数に合わせた容量のあるトスルバッグを求め、休日の外出ならば重さを感じさせない軽量のものが欲しい。さらには、デザインや耐久性も条件に加えれば、使い分けのシミュレーションが広がる。同じスーツでも、持ち上げる頻度が違えば気分も変わるのだから、不思議なものだ。

だが、過去に理想的な製品に出会ったことがあるかと問われて、即座に「イエス」と言切れないのがつらいところ。というわけで、今日はビジネスシーンにおすすめのブランドを紹介しよう。

豪華すぎる顔ぶれの「愛用者たち」

アメリカで誕生した「ハートマン」は、世界のセレブ＆セレブ層のみならず、各国で歴史に残るクラスの要人たちが愛用する老舗ブランドメーカーだ。1877年にウィスコン州で創業以来、135年以上にわたってトランプランドの一角を占めてきた名門中の名門。その歴史は、上の年表で目撃したが、ここでは主立った愛用者を挙げてみよう。

「ハートマン」は、その時代に大きな足跡を残した大物デザイナーや芸術家たちを発売に参加し、そのインスピレーションを刺激してくれる存在で、なおかつ自身のキャリアを彩ってくれるブランドと考へたのだろう。

また、ハートマンは、その時代に大きな理由でデザインを素晴らしさにある。上の年表内にある写真を順番に眺めるだけでも、常にトレンドを先取りしてきたことが想像できるはずだ。

実際にハートマンが人を惹きつける最大の理由は、デザインの素晴らしさにある。上の年表内にある写真を順番に眺めるだけでも、常にトレンドを先取りしてきたことが想像できるはずだ。

時代ごとの流行り廃りを悠々と超えてきたこのコレクションは、ベルティングレザー＆ツイードを使用したハートマンを代表するシリーズのひとつ。写真からも分かるように、時を経ても色褪せない美しいデザインが特徴だ。

「色褪せない」という表現は、誇張ではなく、コレクションのデビュは、何と1956年。半世紀以上を隔てた現代のセンスに照らし合わせても、基本デザインに違和感を覚えないことには、ただただ脱帽するしかない。

さて、同コレクションには、2つの素材がハイブリッドに使用されている。主にナイロンを使用したツイードは、とにかく強靭なことが特徴。これを先に紹介したベルティングレザーと組み合わせることで、タフな耐久性と滑らかな感触という相反するフィチャーを両立しているのだ。また、現在のトレンドである軽量構造や滑らかなローリングホイールなど、多数の最新技術が盛り込まれている。

モダンクラシックなデザインの安定感。長年の研究の結晶である独自素材として最先端のテクノロジーが実現する機能性。これらがひとつの鞆に詰まっていると言える。世界的な人気の高さにも、納得いただけるだろう。

1986年のこと。歴代で唯一、ホワイトハウスで結婚式を挙げた大統領として知られるクロフォード・クリフランドの製トランクを使用しているのを見た人々が、こぞ買って買求めたのだという。そのほか、ジョン・F・ケネディやジョージ・ブッシュ・シニアなど、大統領には「ハートマン」の愛用者が少なくない。当然ハリウッドスターや高名なアスリート、アーティストたちの間でも定番になっている。イギリスの小説家イアン・フレミングが1954年に発表した「007死ぬのは奴らだ」ではスカイメイト・スーツケースを使用している描写がある。そして読者も納得のブランドカーならぬ「トート・アンド・ラゲッジ」もトートだったわけだ。

また、ハートマンは、その時代に大きな理由でデザインを素晴らしさにある。上の年表内にある写真を順番に眺めるだけでも、常にトレンドを先取りしてきたことが想像できるはずだ。

「人間の移動」のイノベーションこそハートマンの歴史なのだ

歴史の長いハートマンは船旅の時代からモータリゼーションの勃興期、そして航空機の時代に至るまで、常に「人間の移動」を見据けてきた。そして、その時々で「問題点」を見つけ、克服し、定着させていく一連のイノベーションを担ってきたブランドのひとつでもある。

左の3枚の写真も古い広告だが、製品に対して揺るぎない自信を持っていたことがありありと読み取れる。内部構造や製品のクローズアップ写真を使うのは、「読めば誰もが必ず納得する」という確信がなければならぬ。それは、それぞれ「頑丈さ」と「容量」を謳っているが、各時代でこうした提案を続けながら、旅に出かける人々のスタイルを変えてきたのだ。

次ページでは、世界の逸品・ハートマンのプレミアムなコレクションを実際に体感できる最新ショップをご紹介します!

My Favorite Life Style

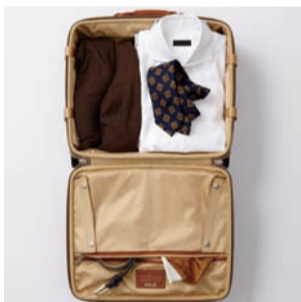
Biz Life Style Pick up >>>

世界の定番&注目の最新モデルがズラリ

大丸心齋橋店 北館に ハートマンのショップがオープン



ツイードベルティング ビジネスバッグ 60,000円(税別) ●サイズ/H29.5xW41xD12cm ●容量/16ℓ



ローリングビジネスバッグ 90,000円(税別)
●サイズ/H38xW43xD24cm ●容量/26ℓ



7R(セブンスター) スピナー55 130,000円(税別)
●サイズ/H55xW37xD23cm ●容量/38ℓ

ハートマンの魅力をご紹介してきましたが、ここでは実物を確かめることができるのか。本誌をご覧の方の中には、もうすでにご存知の方もいらっしゃる。

12月29日、大丸心齋橋店の北館に専門ショップがオープン。これまで紹介したようなハートマンの人気モデルの数々を見比べられる待望のスポットの誕生だ。このシーズンの本紙のイチ推しはこの3点だ。

まずはハートマンのアイコンシリーズである「ツイードベルティング」シリーズのビジネスバッグ。アジア市場向けに開発された使いやすいサイズのフリーケースで、タブレット収納可能なポケット、ペンやモバイル用品などの小物が効率的に整理できる多目的のポケットが付属。大容量かつ機能的なので、オンオフ両用として重宝するはずだ。

続いて、同じくツイードベルティングのローリングビジネスバッグ。敢えて2輪スタイルが採用されたクラシカルな雰囲気魅力で、十分なスペースが確保されたメイン収納部には荷崩れ防止のストラップも。より大きなスーツケースにセットアップできるスマートスリーブが付属しているため、用途に応じた使い方が可能となっている。

そして、発売以来人気のラゲッジ「7R」からは、スピナー55だ。ボディには、特許技術が実現した「カーヴ」素材が使用されており、たとえ極度の低温下であっても極めて高い衝撃耐性を発揮。プルハンドルにはカーボンファイバーとアルミニウムを使用し、強度と軽さをさらに高いレベルで両立させている。国際的なプロダクトデザイン賞「レッドドットアワード2014」では最高峰の「ベスト オブザベスト」を受賞するなど、いま最も注目したいモデルのひとつだ。

ハートマン製品は、大丸心齋橋店のほか、下記2店舗でも手に取れる。本紙記事を参考に、ぜひ体感してほしい。

ハートマン 大丸心齋橋店 12月29日 OPEN

〒542-8501 大阪市中央区心齋橋筋1-7-1 北館11階 かばん・旅行用品売場 TEL.06-6271-1231(代表)
営業時間/午前10時→午後8時30分 [1月1日(金・祝)は休業 1月2日(土)は午前9時30分→午後8時]

ビズスタ読者特典あり! 本紙をご持参いただくか、または「ビズスタを見た」とお伝えください。



来店プレゼント
特製ハートマン
ロゴ入りハンカチ
ご来店の方
先着50名様



購入者プレゼント
ベジタブルタンレザーの
コインケース
税込10万円以上ご購入の方
先着20名様

〈その他店舗〉(関西)

あべのハルカス店

大阪市阿倍野区阿倍野筋1-1-43 あべのハルカス タワー館7階

阪急メンズ大阪店

大阪市北区角田町7-10 阪急メンズ大阪1階

※プレゼントは大丸心齋橋店のみとなります。 ※先着順につき、品切れの際はご容赦ください。